

連携地域別政策展開方針（原案）についての意見募集結果

平成28年6月27日

連携地域別政策展開方針（原案）について、道民意見提出手続により、道民の皆様からご意見を募集したところ、28人から、延べ52件のご意見が寄せられました。

ご意見の要旨及びご意見に対する道の考え方については、次のとおりです。

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・空知農業と関連産業の振興プロジェクトにおいては、国内外での農業競争力の強化を目指し、多様な担い手の育成・確保や農産物とその加工品の高付加価値化を行うこととしていることから、各種関係機関の横の繋がりによる地域農業の担い手確保のための体制の構築や、若手農業者が持続的・発展的に農業経営を行えるよう研修会の開催や農業における新技術の紹介などの取組を進めていただきたい。</p>	<p>・「空知農業と関連産業の振興プロジェクト」では、農業生産法人化などを進めていき、新規就農者・後継者の確保に向けた取組を進めるほか、青年農業者などを対象とした各種研修会の開催やICT技術を活用したスマート農業の普及・促進に取り組むこととしています。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・空知の魅力発信プロジェクトにおいては、空知の魅力を積極的に発信して、人と物の流れの創出や、地域活性化を進めることとしていることから、地域資源の活用や新たな観光ルートの開発のための協力体制の構築、PRなどの取組を進めていただきたい。</p>	<p>・「空知の魅力発信プロジェクト」では、「空知」の知名度向上に向けた市町や民間等との連携による、道内外における戦略的な情報発信と推進組織の構築を進めていくほか、ワイナリーや炭鉱遺産、花などの地域資源を組み合わせた広域的な観光ルートの開発などに取り組むこととしています。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道央広域連携地域】 <主な施策の展開方向> ・道内でも道央圏は大学等の高等教育機関が集積している地域であり、その優位性を活かした地域づくりを進めていくことが重要と考えるので、そうした方向性を盛り込んでどうか。</p>	<p>・「4 主な施策の展開方向」において、「ものづくり産業や食関連産業等の集積の促進や産学官金連携等による産業の創出・育成」、「地域の特性を活かしたものづくり産業人材の確保・定着の促進」という施策の展開方向をお示しさせていただいているところですが、これは、大学などを核とした研究開発拠点の形成や地域資源を活かした新産業の創出、新規学卒者の地元での就職・定着を課題として認識した上でお示しさせていただいているところです。</p> <p>また、石狩地域では、「若者の地元定着促進と首都圏からの新しい人の流れ創出プロジェクト」において、石狩地域に多く立地する大学をはじめ、市町村や地元企業との連携により、新規学卒者の地元就業・定着に向けた取組を推進するほか、地域産業の競争力強化や企業誘致等による雇用の場の創出などに取り組むこととしています。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・都市と自然とが共存する石狩観光スタイルのグローバル展開プロジェクトについて、札幌市を抱える石狩地域は、今後増え続けるだろう外国人観光客への対応など地域だけでは受け入れきれないことが見込まれるので地域間連携や広域観光の視点は大切。石狩の近接地域である胆振や後志とタッグを組むことも必要。</p>	<p>・胆振地域や後志地域とはこれまでも連携した取組を進めてきたところですが、引き続き広域観光推進のための連携した取組を一層進めて参りたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・若者の地元定着促進と首都圏からの新しい人の流れ創出プロジェクトについて、「法人経営の育成」という表現よりも「農業法人化の推進による地域農業の体質強化」又は「農業経営の法人化による地域農業の体質強化」という表現が適切。 また、地域産業の競争力強化ということであれば、農業や漁業の担い手対策、地場企業の後継者や事業継承者の対策なども必要。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、「法人経営の育成」の表現を修正しました。 併せて、P39のイメージ図下段左の列の○農業の体質強化の「・法人経営の育成」の表現を修正しました。 また、農業や漁業の担い手対策、地場企業の後継者や事業継承者の対策などについては、プロジェクトの中で取り組んで参りたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・都市と自然とが共存する石狩観光スタイルのグローバル展開プロジェクトについて、石狩地域を取り巻く環境や状況を説明しているが、石狩地域でどのように楽しく観光ができるのかという観光スタイルを示してその優位性の浸透・拡大を図るべき。</p>	<p>・豊富な食と観光資源を有し、空港からのアクセスも良く、コンパクトな中に都市と自然の両方を楽しめることなどが石狩地域ならではの観光スタイルであると捉えており、その浸透・拡大に向け、魅力の発信に努めて参りたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・ようてい・西いぶり広域連携プロジェクトについて、実態に即した広域エリアでの取組であり、地域の活性化や新たな経済圏の形成を目指す先進的な取組であることから、着実な取組の推進と実効性の確保を求める。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・ようてい・西いぶり広域連携プロジェクトについて、防災・減災対策は、広域エリアでの対応等関係機関との連携の強化が求められており、新幹線札幌延伸等により観光面での人の流れも変わる局面を迎え、交流人口の拡大に向けた取組の強化も必要。これらに応える積極的な取組を進めること。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・多彩な地域資源を活用した国際観光リゾートエリア形成プロジェクトについて、ニセコエリアではすでに多くの外国人観光客が来訪・滞在していることから、地元住民と共存していけるような地域づくりを進めていくことも必要。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・北海道新幹線開業を活かした日胆地域活性化プロジェクトについて、新幹線誘客を取り込むため森町との噴火湾クルーズなど色々な取り組みをされているが、胆振・日高以外の他地域との取り組みも含んでいるのか。</p>	<p>・本プロジェクトには、胆振・日高地域以外の取組は含まれておりませんが、「道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト」など他のプロジェクトにおいて、他地域と連携した取組を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">E</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・多様な強みを活かし融合する住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクトについて、第1次産業の担い手の確保は、地域経済の成長化や地域コミュニティの維持に不可欠であり、より一層の推進と、地域の実情に合わせた住まいの確保について検討していただきたい。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・多様な強みを活かし融合する住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクトについて、農業生産者の年齢が高齢化しており、集落によっては平均70歳以上の農業者で維持されているところもあり、重点的な対策が必要である。地域を維持するためにも、農村集落における移住者用住宅の確保対策をお願いしたい。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・経済・環境の調和を図り地域活力を創造するいぶり産業展開プロジェクトについて、「ものづくり産業拠点の重層化」とあるが、分かりにくいので、「ものづくり産業集積の重層化」、「ものづくり産業集積の多様化・重層化」などの表現に改めてはどうか。</p>	<p>・鉄鋼、自動車関連産業などの既存の産業拠点に加え、新たに環境・エネルギー産業「拠点」の重層化を図ることに本取組の主眼があることから、原案どおりとさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">D</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・経済・環境の調和を図り地域活力を創造するいぶり産業展開プロジェクトについて、「地域の伝統、先端技術の集積等の地域の強みを活かした産業の振興」とあるが、「地域の伝統」、「先端技術の集積」の具体的なイメージが捉えにくいので、プロジェクトの絵図に地域の伝統や先端技術を例示してはどうか。 また、「地域の強みを活かした環境・エネルギー関連産業の振興」とあるが、ここでいう地域の強みとは何かを具体的に記述した方がよい。</p>	<p>・プロジェクトの具体的なイメージが捉えにくいというご意見の趣旨を踏まえ絵図を修正しました。 また、「地域の強み」とは、プロジェクトの「目的」に記載しております再生可能エネルギーの活用を積極的に図るなど環境先進地に向けた取組を進めていることを指し、「施策毎の主な取組方向」では重ねては記載しておりません。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・多様な強みを活かし融合する住みたい・訪れたいいぶり地域づくりプロジェクトについて、○で書いている施策ごとの主な取組方向と、プロジェクトの絵図に記載している内容がほぼ同じでイメージしにくいので、絵図には具体的な取組内容を明記した方がよい。また、「○地域資源を活かした魅力ある食と観光による地域づくりの推進」は、具体的な地域づくりの内容がわかる文言とした方がよい。</p>	<p>・プロジェクトの具体的なイメージが捉えにくいというご意見の趣旨を踏まえ絵図を修正しました。 また、具体的な地域づくりの内容は、プロジェクトの「目的」に記載しております食と観光の一体的な取組の推進による地域産業力の強化を指し、「施策毎の主な取組方向」では重ねては記載しておりません。</p> <p style="text-align: right;">A</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・多様な強みを活かし融合する住みたい・訪れたい いぶり地域づくりプロジェクトについて、プロ ジェクトの絵図の中の言葉を次のとおり修正しては どうか。 ・「豊かな地域資源・自然環境」を「豊かで恵ま れた自然環境と冬でも温暖な気候」 ・「新鮮・多品種な食材」を「多品種で新鮮な農 水産物などのブランド食材」 ・「アイヌをはじめとする歴史や文化」を「アイ ヌ文化、縄文遺跡群、ジオパークなどの歴史や文 化」 ・「充実した医療・福祉施設」を「安心できる医 療・福祉施設などの充実した環境」 ・「空港、鉄道、高速道路など便利な交通アクセ ス」</p>	<p>・ご意見を参考にプロジェクトの絵図を修正しま した。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【道央広域連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・地域特性を活かした「ひだか」観光展開プロ ジェクトについて、「ひだか地域における」とあるが、 日高完結の取組だけではなく、胆振や十勝など隣接 地域を含めた広域の視点での取組を取り込むことも 必要ではないか。</p>	<p>・本プロジェクト以外に、胆振と連携した「北海道 新幹線開業を活かした日胆地域活性化プロジェク ト」や胆振や十勝などと連携した「道内ジオパーク の連携による地域力向上プロジェクト」により広域 的な連携による取組を行っていきます。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェク トについて、北海道新幹線が開業し一定の観光客の増 加が見込まれるが、今後も開業効果が道南地域全体 に持続的に得られるように、また道南地域への誘客 の定着化が図られるように本プロジェクトを着実に 進めていただきたい。</p>	<p>・プロジェクトでは、地域の魅力の磨き上げや道南 地域の魅力を積極的に発信する取組を行い、新幹線 開業効果が道南地域全体で最大限享受できるよう取 組を進めていくこととしています。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・地域重点政策ユニットのプロジェクトの図につ いて、もう少し主要な取組がわかるように工夫して いただきたい。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、具体的な取組を記述するなど修 正しました。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・地域重点政策ユニットに掲載されているプロジェ クトの絵図は、イメージできるのでよいのですが、 具体の取組内容がわかるようにしていただきたい。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、具体的な取組を記述するなど修 正しました。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・渡島、檜山の若い人が学校を卒業した後に地元 に就職できる取り組みを進めていただきたい。</p>	<p>・若年層を中心とした地元への定着、雇用の確保に ついては、地域の強みを活かした産業活性化・雇用 創出プロジェクトにおいて、企業誘致の促進や地場 産業の振興と一体的な取組を図っていくこととし ております。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・近年、渡島、檜山地域で取り組んでいる障がい者などの雇用の場と農業の担い手などの確保を結びつけた農業と福祉の連携の取組も入れていただきたい。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・北海道新幹線開業のチャンスを生かし、道南地域に人を呼び込み活性化するため、北海道新幹線の駅から距離がある渡島北部や檜山管内にも観光客をはじめ多くの人を訪れるような取組を入れていただきたい。</p>	<p>・新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクトでは、地域の魅力の磨き上げや道南地域の魅力を積極的に発信する取組を行い、新幹線開業効果が道南地域全体で最大限享受できるよう取組を進めていくこととしています。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクトの施策の中にある観光地域プラットフォームの充実 ・強化について、観光地域プラットフォームのイメージがわかるように表現していただきたい。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、観光地域プラットフォームについてイメージできるよう修正しました。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクトについて、今後、道南地域の中でも新幹線開業の恩恵に預からない市町が出てくると思うので、地域内の連携はもとより他地域連携を取り入れるなど地域全体が活性化するような取組が必要。</p>	<p>・新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクトでは、地域の魅力の磨き上げや道南地域の魅力を積極的に発信する取組を行い、新幹線開業効果が道南地域全体で最大限享受できるよう取組を進めていくこととしています。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道南連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・道内市町村においては、人口減少・少子高齢化が進み地域産業の衰退など地域を取り巻く環境は厳しく、将来的に現行の行政サービスを維持していくことが困難な状況となっている。特に檜山地域は人口減少・少子高齢化が全道を上回るスピードで進行しており、振興局（北海道）と市町村が連携・協働した取組をプロジェクトに取り入れるなど新たな連携・協働の取組について検討していただきたい。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、地域重点政策ユニットの一つに、振興局と町の協働による連携推進に関するプロジェクトを追加しました。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・魅力ある地域資源を活かした道北地域への来訪促進プロジェクトでは、「食」の魅力を集積したイベントの活用による観光振興を図るとしているが、効果的に交流人口の拡大を図るため、「広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進」の取組と同様、大都市圏等でのプロモーション活動を積極的に展開していただきたい。また、「食」「観光」などの単発の事業展開ではなく、地域の活性化へつながるよう各振興局が連携のもと関連する事業が線で結びつくよう取組を展開していただきたい。</p>	<p>・「食」の魅力を集積したイベントの活用による観光振興については、道内はもとより、「食の大商談会・インフォメーションバザール in Tokyo 2016」への出展をはじめとする大都市圏等でのプロモーション活動を3振興局の連携により実施する予定です。</p> <p>また、「食」や「観光」の事業についても、3振興局が連携した取組を展開してまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【道北連携地域】 <主な施策の展開方向> ・「留萌地域の重点的な施策の方向」について、今後、一歩前進するために、地域の声を聴きつつも、振興局のリーダーシップをはじめ、「楽しそうで、人が動きたくなるような」事業展開をしていただきたい。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・日本海オロロンライン元気づくりプロジェクトにおける地域おこし協力隊の活動支援に関して、活動終了後の定住サポートを単独町村だけでなく、近隣市町村連携でのサポート体制ができるようにしていただきたい。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・安全・安心な地域づくりプロジェクトについて、道北地域は離島地域を抱える地域であることから、こうした条件不利地域の住民も安心して暮らせるような取り組みにも配慮していただきたい。</p>	<p>・ご意見のとおり、道北地域は広大で離島を有するといった地域特性があることから、離島を含め、地域の事情等に十分配慮しながら施策を推進して参ります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・るもい発「食・健康物語」プロジェクトについて、健康産業の育成・展開はまさに地域の特性を捉えたチャレンジングな取り組みと思うので頑張っ取り組んでいただきたい。</p>	<p>・今後も活力ある地域づくりに向け、健康産業の育成・展開促進に取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【道北連携地域】 <地域のめざす姿> ・「広大な土地」を打ち出すというのは、安易な発想で、本当に道北地域の方が目指しているのか疑問です。</p>	<p>・「広大な土地」は、「自然環境」や「多様な資源」と同様、道北連携地域の特色を表しており、こうした地域資源を活用することで、産業振興をはじめ、より多くの可能性につながるものと考えております。</p> <p style="text-align: right;">E</p>
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・「ロシア極東との交流推進プロジェクト」のKPIについて、これは道北の数値ですか。</p>	<p>・新千歳空港等を経由して来道するロシア人や、ロシアへ輸出する道産食品の道北地域の数値を把握できないため、KPIについては全道の数値を使っています。</p> <p style="text-align: right;">E</p>
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・サハリンとの交流推進には、航路の継続が不可欠ではないでしょうか。</p>	<p>・現在、地域では、航路の存続に向けて、様々な検討が行われており、今後の推進管理の中で、地域の取組を反映して参ります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・「ロシア極東との交流推進プロジェクト」■ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進のポンチ絵で、HPなどの活用とありますが、それだけではかなり弱いと思います。観光客の受入も道が積極的に関わっていくべきです。</p>	<p>・ロシア人の誘客促進に関しては、これまでもサハリン州のマスメディアや旅行会社を対象とした、インバウンドモニターツアーを実施するなどの取組を行っており、ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【道北連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・「人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト」 ■地域の魅力を活かした移住・定住の推進において、若者の移住後のバックアップ体制も推進していただきたい。</p>	<p>・担い手対策の充実や、関係機関が連携して移住者のサポートを行うなど、ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【道北連携地域】 <方針の推進> ・宗谷総合振興局において、リーダーシップを発揮して、地域づくり連携会議の場でも真剣な議論を通じて、方針を推進していただきたい。</p>	<p>・地域づくり連携会議等の場を活用し、市町村長や地域の関係者などの参画をいただきながら、効果的に方針を推進して参りたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【オホーツク連携地域】 <その他> ・オホーツク地域は、全道トップクラスの良質な農水産物を有する一方、ブランドの点においては十勝等に比べ知名度が十分ではないため、ブランド発信強化に力を入れて取り組んでいただきたい。</p>	<p>・「クールオホーツク」や「流氷トラスト運動」などと連動して、オホーツクのブランド化をめざすAI活動を引き続き推進していくほか、新たに起ち上げた「豊富な農水産物を活かした食関連産業振興プロジェクト」の中で、新製品の開発や付加価値の向上などを通じたブランド形成を図るとともに、オホーツクフェアの開催などによる国内外への販路拡大に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【オホーツク連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクトについて、地方路線を取り巻く環境は大変厳しく、将来的に地方空港の存続が危惧されているところ。国においても空港の民営化など新たな動きが見られることから、空港連携による取組の推進など、道東エリアとしての広域による連携の取組を強化することで、航空ネットワークが維持できるよう積極的な取組をお願いする。</p>	<p>・「道東5空港連携による取組の強化」については、「ひがし北海道」広域観光プロジェクトの「交通ネットワークを利用した地域間連携の強化」の中で、施策の主な取組方向として位置づけており、地域間で連携して取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【オホーツク連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・TPPによる木材の自由化が進むことにより、木材価格の低下が懸念される一方、環境に配慮した木材が求められており、経済の循環と資源の平準化が必要。オホーツク独自の新技术・新製品開発に期待。</p>	<p>・道では、適切な森林資源管理のもと、「植えて、育てて、伐って、使って、また植えて」といった森林資源の循環利用を推進しており、オホーツク連携地域では森林認証制度を活用した森林資源管理と地域材の利用拡大に取り組んでおります。また、新たな政策展開方針においては、農林水産業強化プロジェクトを推進していくための施策の一つに「オホーツク産森林認証材等の利用促進」を掲げ、その主な取組方向として新技术・新製品の実証・開発を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【十勝連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・「ひがし北海道」広域観光プロジェクトについて、道東エリアが一体となって地域間連携や広域観光を進めていくという視点は大切であり、また新幹線効果を直截的に受けない地域でもあることから、新たな北海道観光のモデルを構築すべく頑張っていただきたい。</p>	<p>・本プロジェクトは、道東4地域（十勝、オホーツク、釧路、根室）における広域連携のプロジェクトであり、道東4地域間連携による相乗効果を高め、道東地域全体への誘客促進を図っていきます。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【十勝連携地域】 <地域のめざす姿について> ・目指すべき姿は道東の拠点ではなく、東北北海道の拠点に表現を修正したほうがよいのではないか。ひがし北海道連携プロジェクトも進めていくのであれば、帯広が東北北海道の中心地であるとの意気込みを示すべき。</p>	<p>・「地域のめざす姿」については、新千歳空港の深夜発着枠の拡大や北海道新幹線開業により交流人口の急増が想定されること、また、今年3月には道東道の白糠IC～阿寒IC間が開通し、さらに、オホーツク方面への整備も進展する中、道東の玄関口として、観光、物流の双方において道東と札幌・道外をつなぐ戦略的拠点として期待されるという考え方で道東の拠点「十勝」といった表現にしたものです。</p> <p>・一方で、「ひがし北海道」というフレーズについては、主に道東地域間の広域周遊観光の観点から使っているフレーズであるため、プロジェクトの名称として付けたものですが、このプロジェクトについては、十勝がリーダーシップを取って構築したプロジェクトであり、帯広を中心とした十勝が東北北海道の中心であるということは、御意見のとおりと認識しています。</p>
<p>【十勝連携地域】 <これまでの取組と課題について> ・「T P P協定交渉の合意や肥料・飼料等の高騰など農林水産業を取り巻く環境が変化する中、国内有数の食料供給地域として多様化する消費者ニーズに応える、安全・安心で高品質な農水産物の安定的な生産・供給が強く求められています。」は課題ではなく現状認識である。課題であるならば、「～消費者ニーズに応えるために、安全・安心で高品質な農水産物の安定的な生産・供給に向けた取り組みが必要です。」になるのではないか。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、「○ たくましい農林水産業の展開」の「課題」の部分の表現を見直しました。</p>
<p>【十勝連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・KPIの基準年は統一できないか。</p>	<p>・K P Iについては、プロジェクトの成果（進捗状況や達成度）を計れる統計数値など客観的な数値を用いて設定しており、目標の基準年については平成28年度の直近年としておりますが、指標の項目によって直近のデータに差異があるため、原案のとおりといたします。</p>
<p>【十勝連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・「食の拠点」とから強化プロジェクトのKPIである「地域の認証・登録制度の認証・登録品目数」については、累計の品目数と推察されるが、5年後に21品目増えることでどういった点が食の拠点づくりに寄与するのか。</p>	<p>・ご意見のとおり、品目数については、北海道による認証制度等による品目数の累計としています。</p> <p>この中には、北海道が自ら認証を行うもののほか、道以外の団体が統一ブランドとして認証するものも含まれており、品目にはパン、チーズ、農畜産物加工品、お菓子など多岐にわたります。</p> <p>現状179品目に対して200品目という目標設定は北海道ブランドの更なる向上を図るため、1割程度の増加を期待するものであり、十勝の強みである「食」を一層高めていくため、個々の事業者が行おうとする取組への相談対応、補助事業などの制度についての情報発信により、推進に向けた取組を図っていきます。</p>

B

A

D

E

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【十勝連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクトのKPIである「新エネルギーの導入状況（原油換算）」の意味が不明であり、例えば注釈等をつけるなど、一般住民が一目みてわかる指標にすべき。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、KPIの部分に、新エネルギーの導入状況（原油換算）についての説明（注釈）を追加しました。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>【十勝連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・「多様な人材の活躍」とかち支援プロジェクトのKPIである「女性キャリアデザインロールモデル輩出数（累計）50件（H31）」について、累計かつ目標年をH31にしている意図は何か。</p>	<p>・新たな「連携地域別政策展開方針」の策定に当たっては、各地域における人口減少問題への対応として、昨年10月に策定した「北海道創生総合戦略」の地域戦略の内容も反映し一体的に推進管理を行うこととしており、北海道創生総合戦略の地域戦略から「地域重点政策ユニット」のプロジェクトを設定した場合は、地域戦略のKPIを使用することとしております。</p> <p>「多様な人材の活躍」とかち支援プロジェクトの施策である「■女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組」については、地域戦略の主な施策の内容を具体のプロジェクトとして構築したものであり、KPIについては地域戦略のKPIを使用しております。</p> <p>なお、いただいた、現在の数字を表示すべきのご意見についてですが、ロールモデルの定義付けについては、現時点で明確に示されたものはないため、ロールモデルの構築についても、対象範囲など、今後、本プロジェクトを進めていく中で併せて検討していきます。</p> <p>また、各プロジェクトにおけるKPIについては、今後、毎年度の推進管理の中で点検・評価を行い、必要に応じて数値の見直しや新たなKPIの設定を行っていく考えです。</p> <p style="text-align: right;">E</p>
<p>【釧路・根室連携地域】 <その他> ・釧路根室の連携地域別政策展開方針には、酪農や漁業など産業振興や交流人口の拡大など、地域のカラーが反映されていると思います。</p>	<p>・ご意見を頂いた内容については、方針において重点的に取り組むプロジェクトとして位置づけております。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>【釧路・根室連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・釧路根室の経済は厳しい状況が続いており、産業振興と雇用の確保は重要な課題だと思います。酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクトの中に、新たな産業おこしや起業への支援、雇用の場の確保などについて触れていただければと思います。</p>	<p>・ご意見を頂いた内容については、地域重点政策ユニットの酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクトの中で、地場産品のブランド化や高付加価値化や地域を支える企業の振興などにおいて施策を推進するものとして位置づけております。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>【釧路・根室連携地域】 <その他> ・釧路根室の教育水準が低いとされています。将来を担う子どもたちがしっかりとした教育を受けられるような取り組みが必要だと思えます。</p>	<p>・この方針の推進にあたっては、北海道において各政策分野ごとに策定する「特定分野別計画」と相まって地域に根ざした政策を展開することとしており、ご意見を頂いた教育に関しては、北海道教育委員会が策定している「北海道教育推進計画」を踏まえ、地域において様々な施策を推進することとしており、ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【釧路・根室連携地域】 <その他> ・釧路や根室管内では、人口が大きく減少していくことになると思いますが、そういう中で住んでいる人が生活に困らないような施策を立て、取り組みを進めてください。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>【釧路・根室連携地域】 <地域重点政策ユニット> ・地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクトについては、バードウォッチングなど外国人観光客向けのニッチな取り組みを地域の強みを活かす取り組みとして、根付かせていっていただきたい。</p>	<p>・ご意見の趣旨については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>

※「意見に対する道の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

○ 問い合わせ先

道央広域連携地域政策展開方針（原案）	
空知総合振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0126 - 20 - 0030（直通）
石狩振興局地域創生部地域政策課地域政策係	011 - 204 - 5815（直通）
後志総合振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0136 - 23 - 1341（直通）
胆振総合振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0143 - 24 - 9567（直通）
日高振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0146 - 22 - 9073（直通）
道南連携地域政策展開方針（原案）	
渡島総合振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0138 - 47 - 9425（直通）
檜山振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0139 - 52 - 6481（直通）
道北連携地域政策展開方針（原案）	
上川総合振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0166 - 46 - 5911（直通）
留萌振興局地域創生部地域政策課主査（地域政策）	0164 - 42 - 8423（直通）
宗谷総合振興局地域創生部地域政策課主査（地域政策）	0162 - 33 - 2915（直通）
オホーツク連携地域政策展開方針（原案）	
オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0152 - 41 - 0620（直通）
十勝連携地域政策展開方針（原案）	
十勝総合振興局地域創生部地域政策課主査（地域政策）	0155 - 26 - 9014（直通）
釧路・根室連携地域政策展開方針（原案）	
釧路総合振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0154 - 43 - 9146（直通）
根室振興局地域創生部地域政策課地域政策係	0153 - 24 - 5572（直通）
その他（連携地域別政策展開方針に関すること）	
北海道総合政策部地域創生局地域戦略課地域調整グループ	011 - 206 - 7296（直通）